

## 第6節 日本赤十字社 福岡県支部

福岡県西方沖地震では、福岡市に災害救助法が適用され、特に被害が大きかった福岡市西区玄界島の島民約700名のほぼ全員が島外へ避難し、約450名が福岡市中央区の体育館に避難した。

日本赤十字社福岡県支部は、直ちに医療救護班を玄界島に派遣、その後に避難所となった福岡市九電記念体育館に救護所を設置し、救護員を4月26日まで派遣した。

また、福岡市内の各避難所には、約2,800名が避難し、避難者が多かった西区の西浦地区及び東区の志賀島地区から市の中心部に向けて巡回診療を行った。

さらに、西区の西浦地区の漁村センターには、救護所を開設し4月7日まで救護員を派遣した。

以下に活動の状況を示す。

### 1 救護活動状況

#### ① 医療活動等

活動場所	活動内容	活動期間	救護員	取扱患者数
玄界島	医療活動	3月20日	7人	3人
九電記念体育館	救護所内の医療活動	3月20日～4月1日	106人	1,102人
西区西浦	西浦周辺の巡回診療	3月21日～3月23日	10人	36人
	救護所内の医療活動	3月24日～4月7日	41人	154人
東区志賀島	志賀島地区の巡回診療	3月21日	7人	52人
合 計			171人	1,347人

#### ② こころのケア

活動場所	活動内容	活動期間	救護員	取扱患者数
九電記念体育館	こころのケア	3月21日～4月26日	45人	1,041人
東区志賀島	こころのケア	3月21日～3月23日	3人	40人
合 計			48人	1,081人

### 2 救護員の派遣状況

(人)

施設名	医師	看護師	薬剤師	心のケア	介護職	主事	連絡調整員	合計
福岡赤十字病院	25	46	8	34	0	13		126
今津赤十字病院	5	27		1		11		44
筑前山田赤十字病院	1	11		7		7		26
大寿園					1	4		5
やすらぎの郷		1		3		3		7
豊寿園		1						1
福岡県赤十字血液センター						1		1
日本赤十字社福岡県支部				3		2	4	9
合 計	31	86	8	48	1	41	4	219

3 救援物資の配分

福岡市，前原市，須恵町，新宮町に配分した救援物資の総数

内 容	配 分 数
毛 布	2, 590枚
日用品セット	280組
タオルセット	20組
救急医薬品セット	15組



自衛隊のヘリで玄界島へ



九電記念体育館避難所における診療



救護班による心のケア



救援物資の搬送

## 第7節 福岡県警察

### 福岡県西方沖地震に伴う警察措置

#### 1 初動的措置

##### (1) 福岡県警察災害警備本部の設置

地震発生と同時に、警察本部長を長とする「福岡県警察災害警備本部」を設置し、県警の総力を挙げた各種対策に当たった。

##### (2) 被災情報の収集

###### ・ヘリコプターによる被災情報の収集

ヘリコプターを緊急離陸させ、福岡市内及びその周辺全域を周回飛行し、特性を活かした迅速な情報収集活動を実施した。

###### ・パトカー等による情報収集、警戒

各警察署では、地震発生と同時に全勤務員を投入し、パトカー等により、沿岸地域住民（釣り人等を含む）へ津波注意報を伝達するとともに、人的・物的被害の把握に努めた。

#### 2 玄界島対策

##### (1) 初動措置

ヘリコプター及び船舶等を動員して、警察の救助部隊である広域緊急援助隊等を玄界島へ緊急派遣し、消防と共同して要救助者の搜索活動を実施したのをはじめ、全世帯巡回しての、ガス元栓等の安全点検、島民の方々の避難誘導を実施した。

##### (2) 広域緊急援助隊によるパトロール活動等

島民の皆様が玄界島に設置された仮設住宅に入居し、生活が落ち着かれるまでの間、広域緊急援助隊を継続して派遣し、入島者に対する身分確認、オフロードバイク等での島内パトロール活動を実施するとともに、福岡市をはじめとする関係機関と協力して、被災家屋をシートで覆うなどの降雨対策や島民の皆様の一時帰島に伴う危険箇所の警戒等を実施した。

##### (3) 臨時交番の開設

移動交番車を玄界島に搬送して、臨時交番を開設した。

##### (4) 島周辺の密漁警戒等

船舶による玄界島周辺の密漁警戒等を実施した。

#### 3 治安対策

##### (1) 地震発生初期の対策

避難された方々の留守を狙った犯罪を防止するため、地震発生直後から、管轄警察署が総力を挙げて避難所及びその周辺の警戒活動を実施するとともに、警察相談活動を実施した。

##### (2) とびうめ遊撃隊の設置

被災地及び避難所の警戒を目的として、パトカーによる「とびうめ遊撃隊」を発足させて、活動した。



玄界島臨時交番

(3) 地震を利用した被害防止のための広報啓発の推進

新潟県中越地震で見られたような地震を利用した悪質な犯罪（振込め詐欺，侵入盗，悪質商法）の発生を防止するため，広報チラシの配布，県警ホームページで注意を呼びかけるなど，広報啓発活動を実施した。

(4) 犯罪発生及び検挙状況

震災の不安に乗じた窃盗事件や詐欺事件が発生したが，そのうち，3月24日，福岡市中央区で発生した「家屋の被害点検を口実に金品を窃取する訪問盗事件」の被疑者を3月28日に中央警察署が逮捕した。

4 交通対策

地震発生と同時に，道路の被害状況の調査及び危険箇所での交通規制を実施するとともに，交通安全施設（信号機，道路標識等）の被害状況の把握と応急措置及び道路管理者と連携した必要な交通規制を実施した。

5 被災者対策

(1) さくらサポート隊の設置

避難所に避難している方々の心のケアを目的とし，女性警察官を中心に編成した「さくらサポート隊」を運用し，避難所における警察安全相談活動，「ふれあい」活動を実施した。

(2) 島民の皆様の安心感を醸成するための広報活動

玄界島の島民の皆様が，玄界島の治安状況を心配されていたことから，それを解消するため，広域緊急援助隊が臨時交番を拠点として，しっかりと留守を守っている姿をビデオ撮影し，避難場所の九電体育館において上映会を開催した。

6 福岡県，福岡市との連携強化

地震発生直後から，福岡県，福岡市のそれぞれの災害対策本部に警察官を派遣し，連絡，調整の任務に当たらせた。



島内パトロール活動



避難所における警察安全相談

## 7 震災後の福岡県警察の取り組み

### (1) 「3. 20災害警備訓練」の実施

県警では、大規模災害発生時に迅速かつ的確な災害警備活動を行えるよう、毎年、福岡県西方沖地震が発生した3月20日前後に各種災害警備訓練を実施しています。



H20.3.17 (車両救出救助訓練)



H20.3.17 (NBC災害対処訓練)



H19.3.20 (ヘリ救助訓練)



H18.3.20 (車両救出救助訓練)

### (2) 防災関係機関と連携した訓練の実施

福岡県や各市町村の防災訓練等に積極的に参加し、関係機関との連携、県民への防災意識の高揚に努めています。



H20年度福岡県総合防災訓練  
(交通規制・交通整理訓練)



H20年度福岡市市民総合防災訓練  
(海中転落者救出救助訓練)



H20年度福岡市市民総合防災訓練  
(避難誘導訓練)



H20年度春日市防災訓練  
(自衛隊との合同訓練)



H18年度福岡空港航空機事故総合防災訓練  
(航空機事故訓練)



(福岡市消防局レスキュー隊との合同訓練)

(3) 九州管区広域緊急援助隊合同訓練の実施

警察では、毎年、防災関係機関等の参加を得て、九州各県警察の広域緊急援助隊による合同訓練を実施し、他県警察等との広域的な連携、技術の向上に努めています。



H19年度「長崎県」  
(ヘリによる救出救助訓練)



H18年度「宮崎県」  
(エアマットを使用した救出救助訓練)



H18年度「宮崎県」  
(倒壊家屋からの救出救助訓練)



H17年度「大分県」  
(埋没車両からの救出救助訓練)

